

# 中期経営計画 **SZ-20** の進捗状況

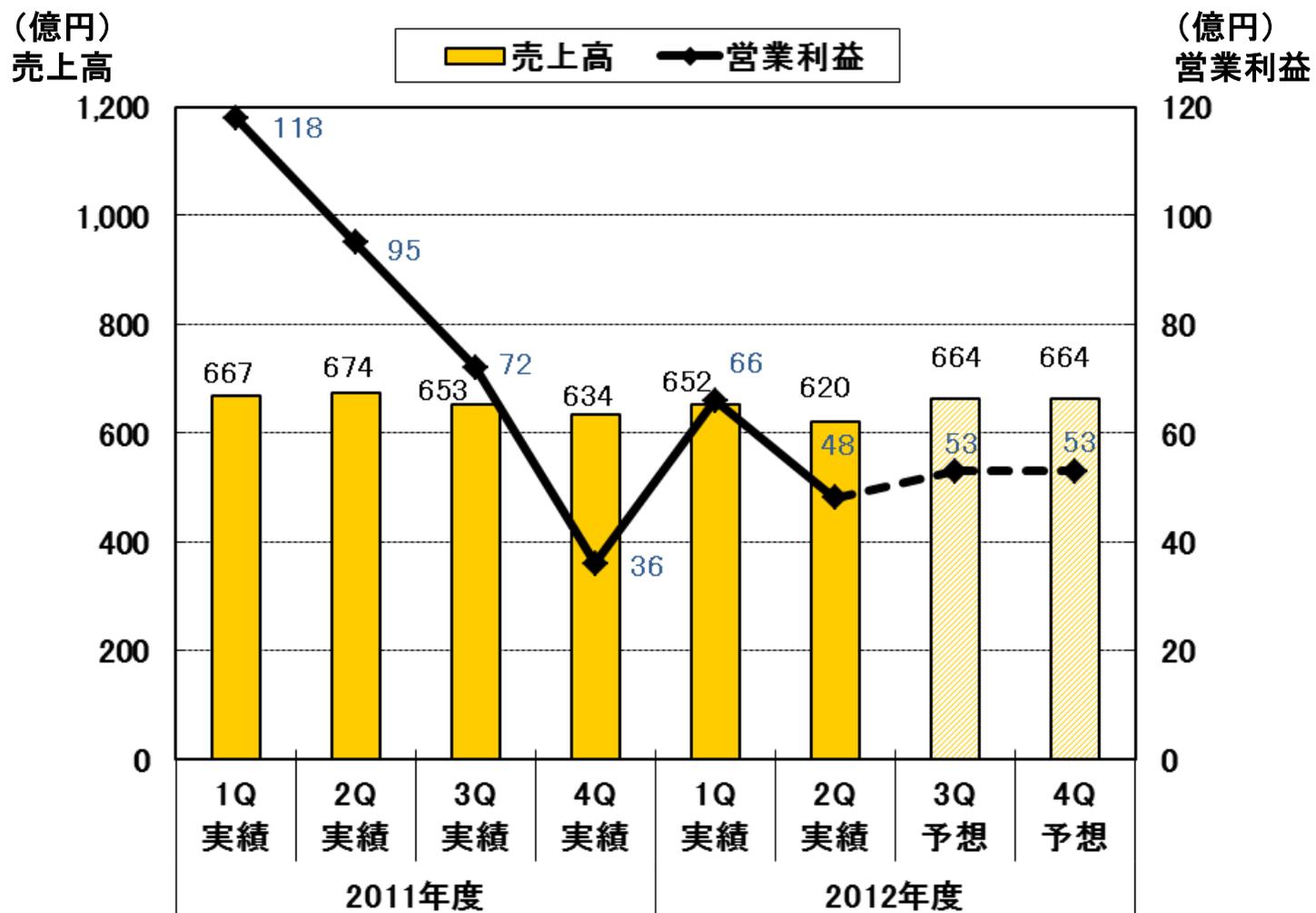
2012年 11月7日

**日本ゼオン株式会社**

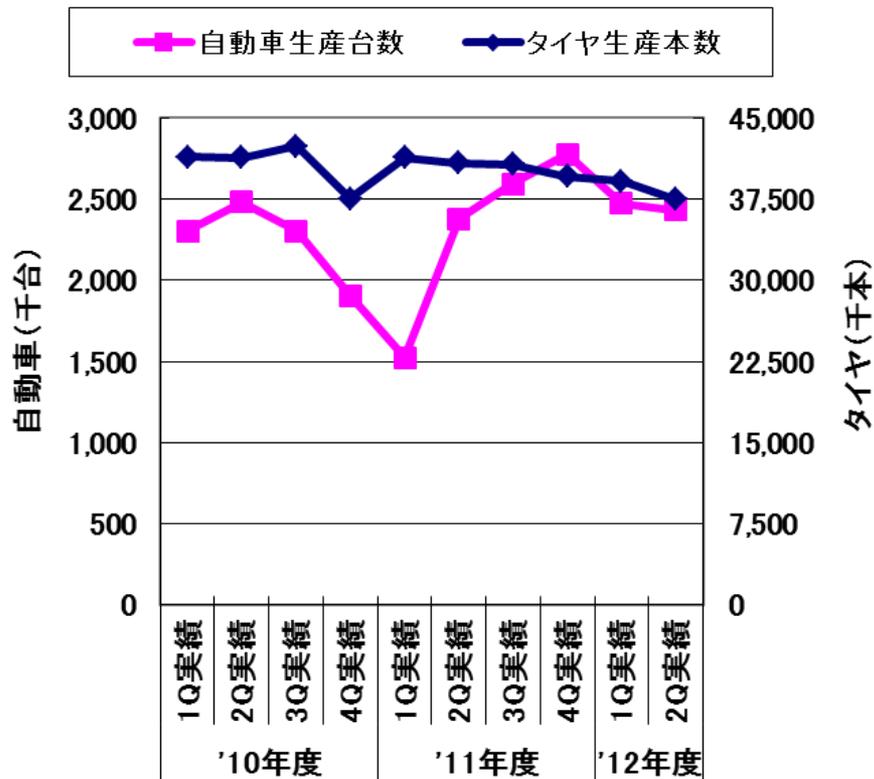
代表取締役社長 古河 直純

- I. 今年度業績と経営環境
- II. 中期経営計画 **SZ-20**
- III. 事業トピックス
- IV. 業績目標

# 連結業績推移(四半期毎)

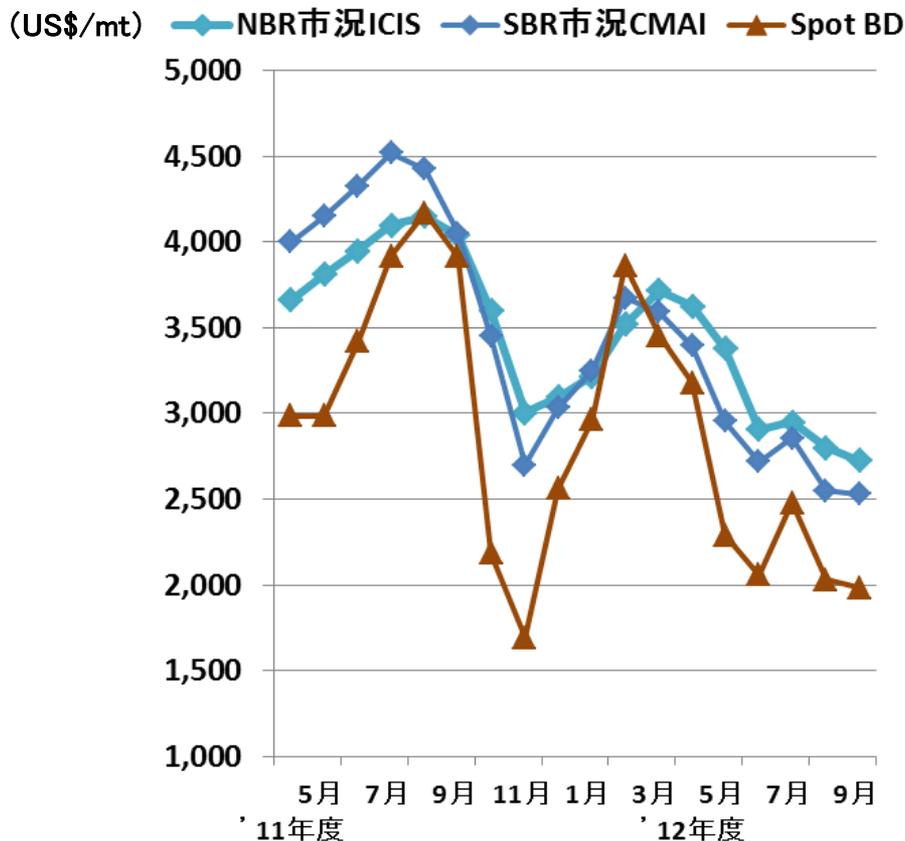


## 国内 自動車・タイヤ生産量



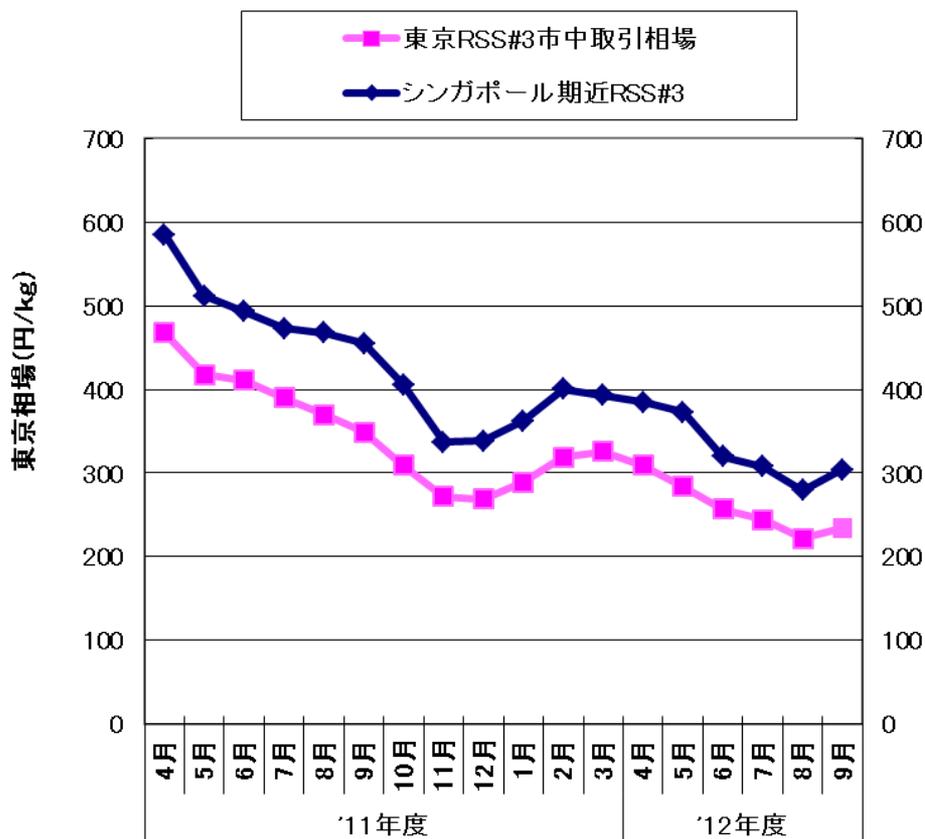
(出典: 日本自動車工業会、  
日本自動車タイヤ協会)

## 合成ゴムと原料ブタジエン市況



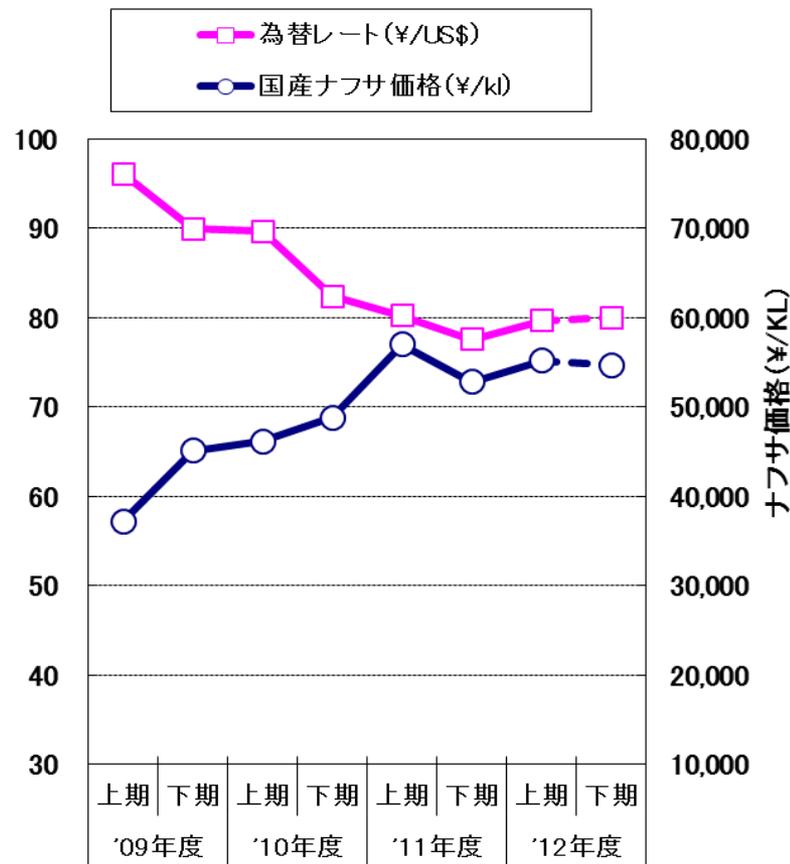
NBR市況\_CFR東南アジア (出典: ICIS)  
SBR市況\_CFR東南アジア (出典: CMAI)  
スポットBD\_CFR台湾 (出典: PLATTS)

## 天然ゴム市況



(出典: 合成ゴム月報)

## 為替と国産ナフサ価格



('12年度下期は当社推定)

# SZ-20

2011～2013年度までの  
実行計画に展開

重要な  
価値観

スピード

対話

社会貢献

大切にする  
ゼオンらしさ

-仲間との  
相互信頼-

2020年のありたい姿

- 化学の力で

未来を今日にする

ZEON -

わたしたちゼオンは、お客様の夢と  
快適な社会の実現に貢献し続けます。

エラストマー素材事業と高機能材料事業のそれぞれの強みを磨き上げ、両輪でグローバルに事業を拡大する

2020年度連結売上高5,000億円

2020年度海外生産高比率50%

## 事業セグメント別戦略

### エラストマー素材事業

成長市場への  
グローバルな対応による  
強い事業の更なる強化

### 高機能材料事業

重点3事業分野での  
研究開発の加速による  
事業拡大

## 事業セグメント別戦略

### エラストマー素材事業

成長市場への  
グローバルな対応による  
強い事業の更なる強化

### 高機能材料事業

重点3事業分野での  
研究開発の加速による  
事業拡大

## 成長市場へのグローバルな対応による強い事業の更なる強化



中国 PSC(パウダースラッシュ材料)工場

中国  
管理性公司設立・  
PSC生産拠点

米国  
Zetpol®増設

タイ  
石油樹脂増設

韓国  
販売拠点



タイ増設 起工式

インド 東京材料  
販売拠点

ベトナム  
加工拠点



ZCLP テキサス工場

シンガポール  
S-SBR生産拠点



ベトナムで建設中の  
包装資材生産拠点

- 既存生産拠点
- 新設生産拠点
- 既存販売拠点
- 新設販売拠点

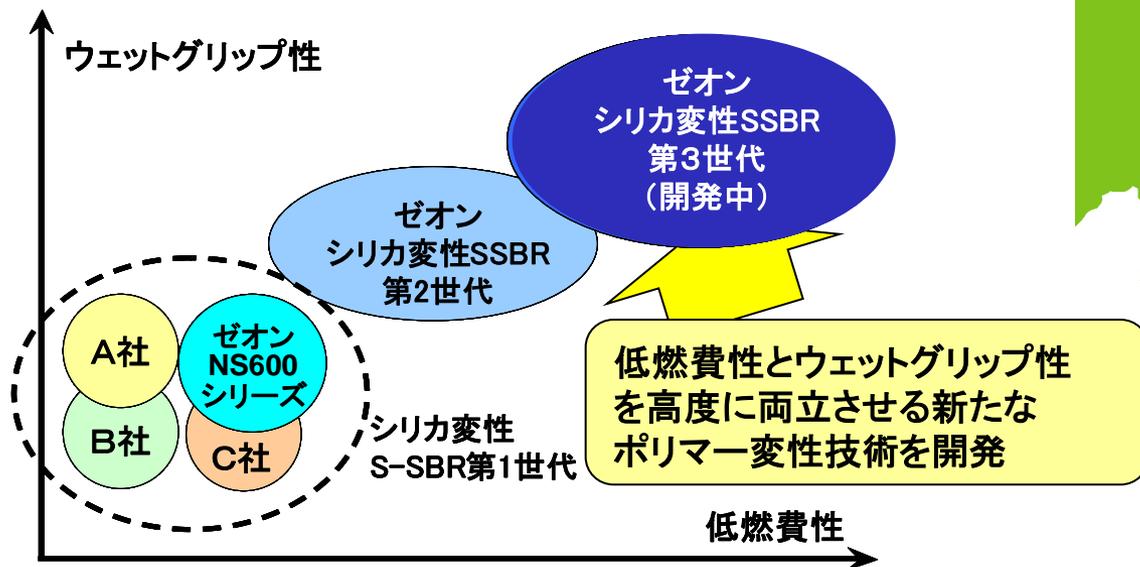
# エラストマー グローバル展開

生産拠点	進捗状況		
	2011年	2012年	2013年
タイ 石油樹脂 増設		着工 	稼働予定 7月
ベトナム 加工拠点 新設		着工 	稼働予定 4月
シンガポール S-SBR 新設	着工 		稼働予定 7月
米国 Zetpol®増設	着工 	稼働 4月	
中国 PSC 新設	着工 	稼働 4月	

※PSC: パウダースラッシュ材料

## 拡大する低燃費タイヤ市場向けに供給能力を確保する

新車燃費規制、リプレスタイヤラベリング制度  
に対応した次世代タイヤ用ゴムの開発進展



シンガポール工場建設順調



## 高機能化する自動車材料への対応

### 新ゼットポール水素化設備竣工(当社川崎工場内)

2012年 8月竣工

2012年 11月商業運転開始



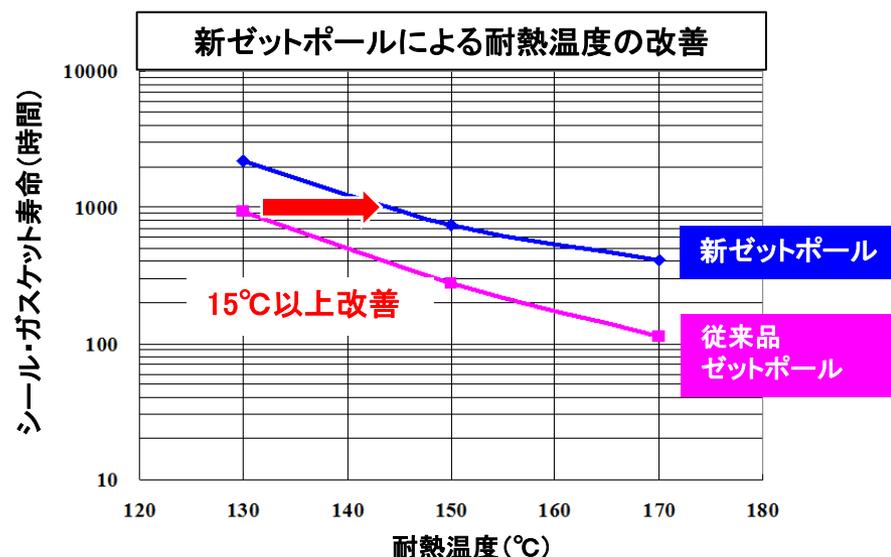
設備能力: 500t/年

### 新ゼットポール用途展開

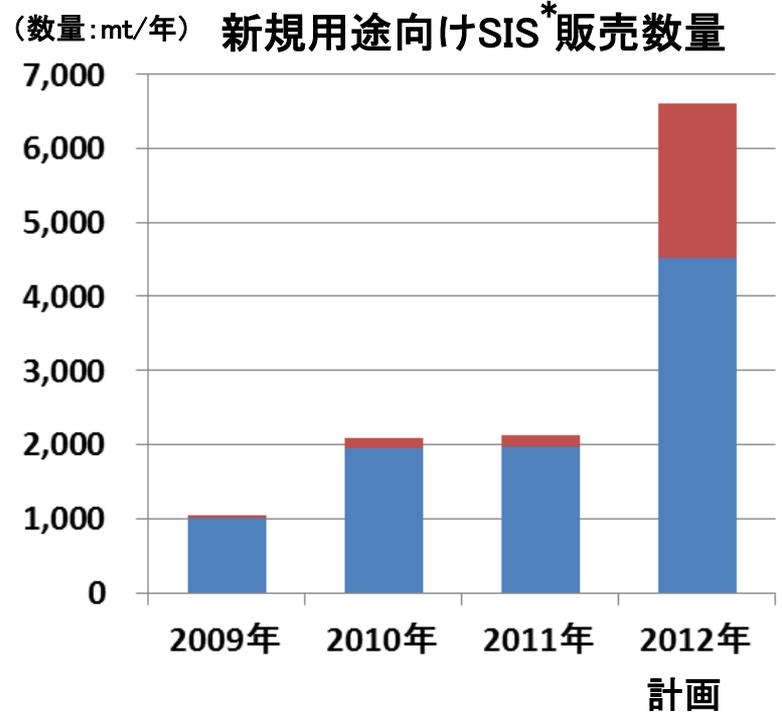
エアインテークマニフォールドガスケット、  
建機燃料ホース、ハブシール、  
ギアボックスO-ring、  
油中タイミングベルト

### ゼットポールラテックス用途展開

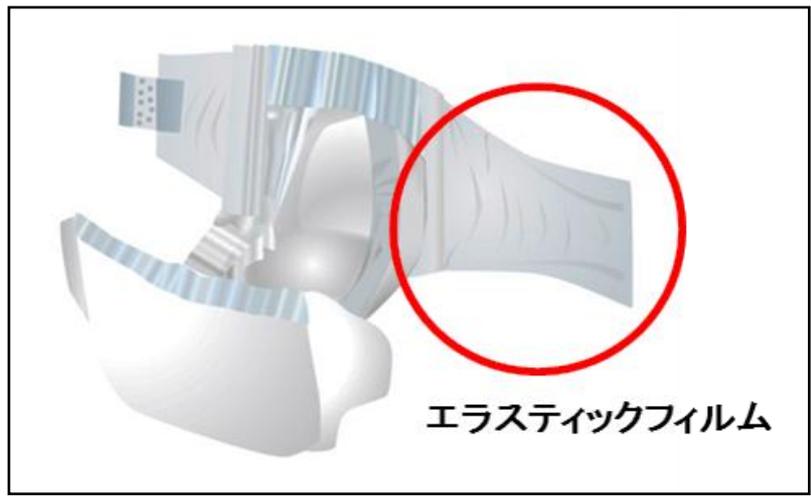
油中タイミングベルト用ハンプ、  
心線処理剤、自動車用摩擦材



## ラベル・エラスティックフィルム用途向け販売拡大



紙おむつのファスニング部分に使用



→

- エラスティックフィルム用途
- ラベル用途

\*SIS スチレンイソプレンプロックポリマー

## 事業セグメント別戦略

### エラストマー素材事業

成長市場への  
グローバルな対応による  
強い事業の更なる強化

### 高機能材料事業

重点3事業分野での  
研究開発の加速による  
事業拡大

### 高機能材料事業の重点3事業分野

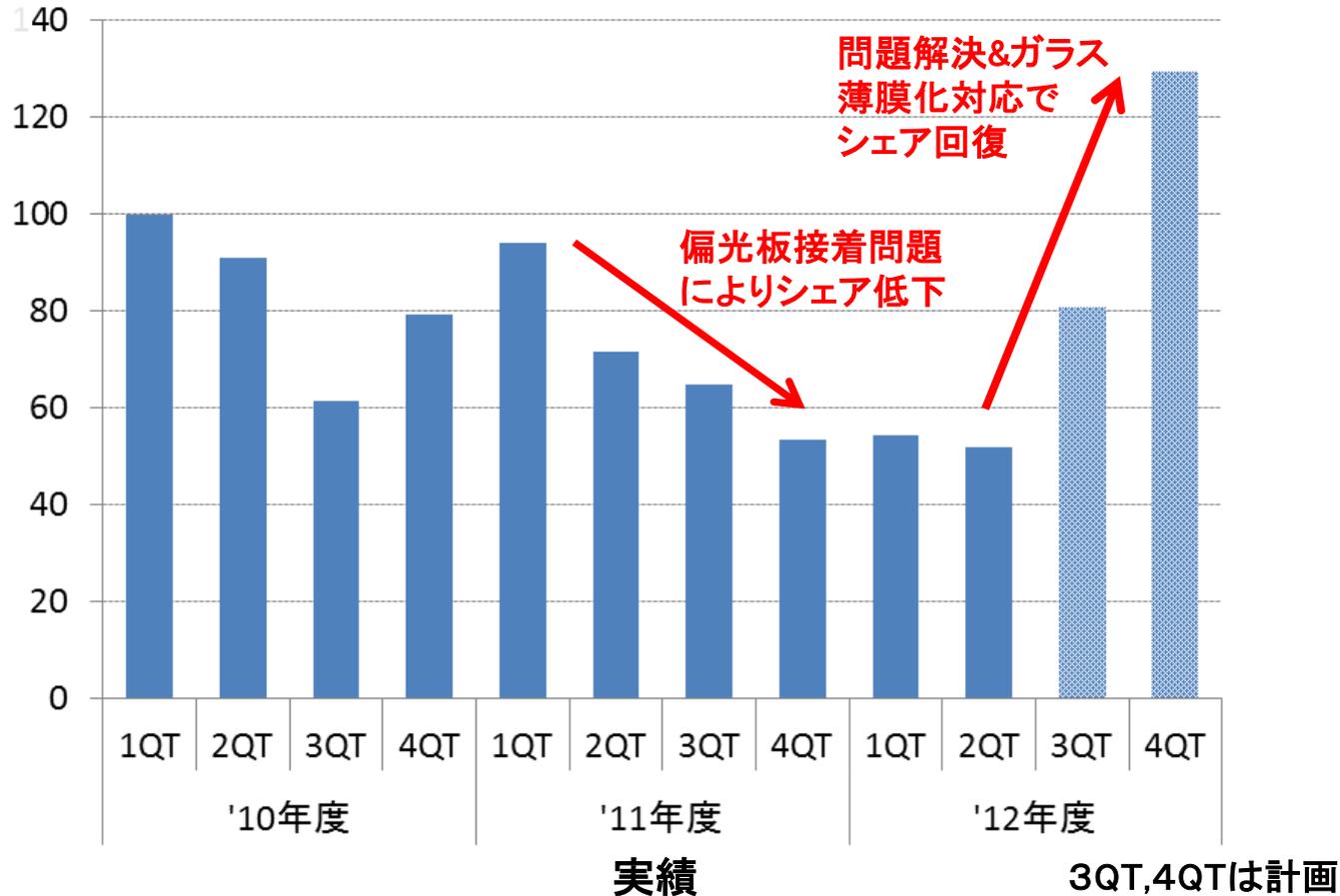
情報用部材  
(オプト用) (実装用) (電子用)

エネルギー用部材

メディカルデバイス

高機能素材

## 当社光学フィルムの販売数量推移

販売数量  
(指数)

※ 指数は'10年度1Qの販売数量を100とした場合

## 偏光板接着問題

偏光板製造工程での接着方式変更(水系接着→UV接着)推進により

- ①偏光板生産性改善(ゼオノアフィルム®偏光板=TAC偏光板)
- ②品質課題改善を実現。

接着剤(水系→UV)

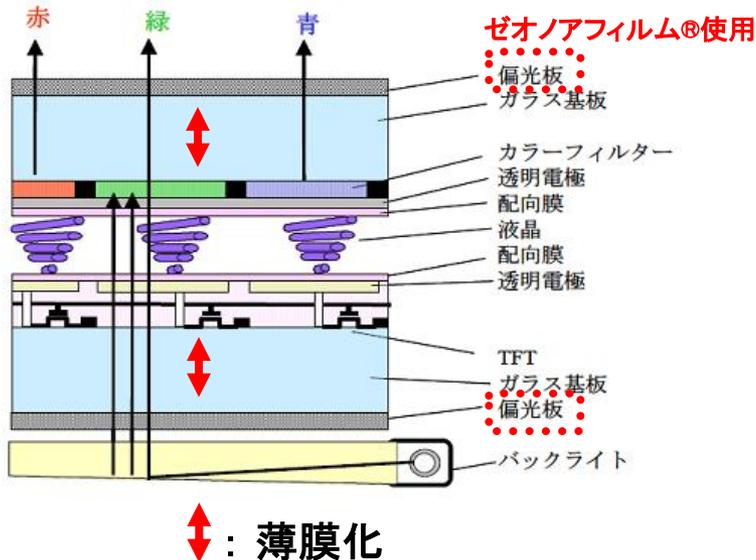
偏光板の構成



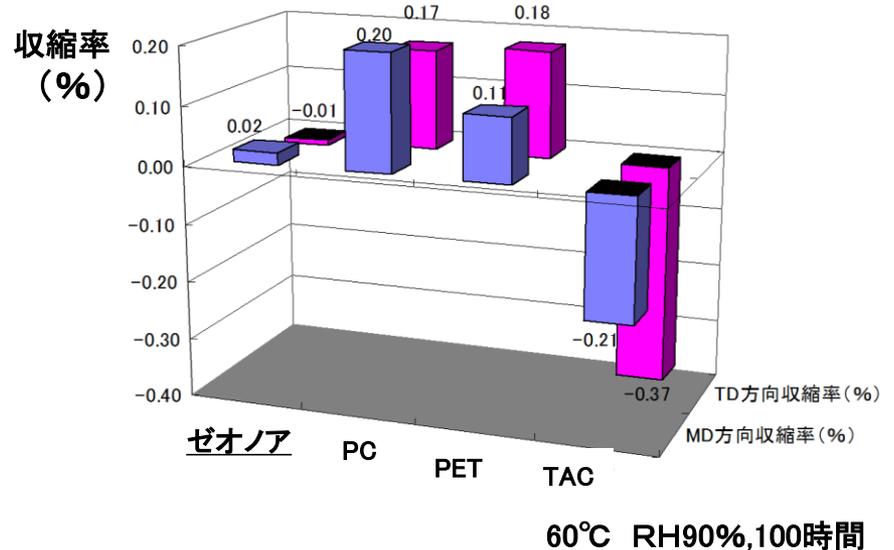
## ガラス薄膜化対応

パネルメーカーでのコストダウン検討推進によるガラス薄膜化で偏光板の反りが課題になり、寸法安定性の良好なゼオノアフィルム®の採用拡大。

液晶パネル構成一例



ゼオノアフィルム®の高い寸法安定性=偏光板反り防止



## 福井県敦賀市に斜め延伸位相差フィルムの新工場を建設

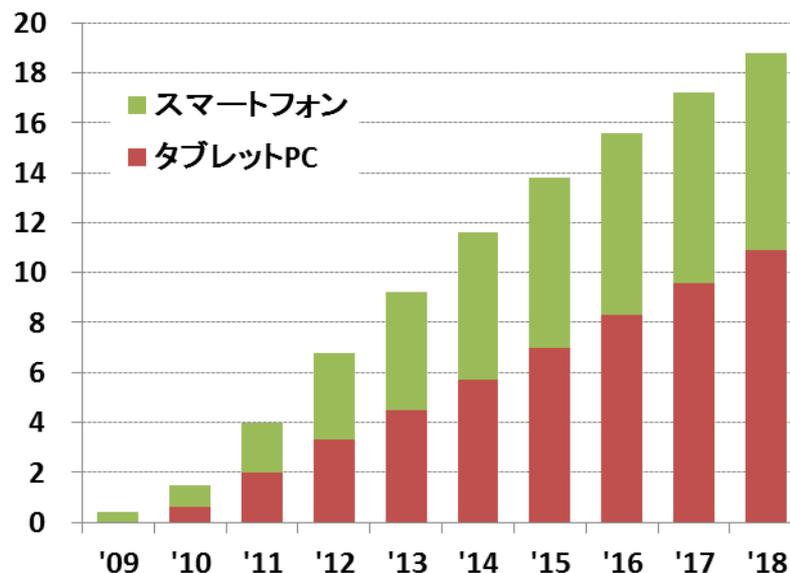
既存の斜め延伸設備と合算した生産能力は2,500万m<sup>2</sup>／年になる。

- 中小型用FPD(フラットパネルディスプレイ)向けの更なる需要拡大に対応
- BCP(事業継続計画)の観点等を考慮
- 投資額は総額約70億円

### 【新工場の概要】

- ・ 生産能力: 約1,000万m<sup>2</sup>／年
- ・ 完成予定: 2014年3月

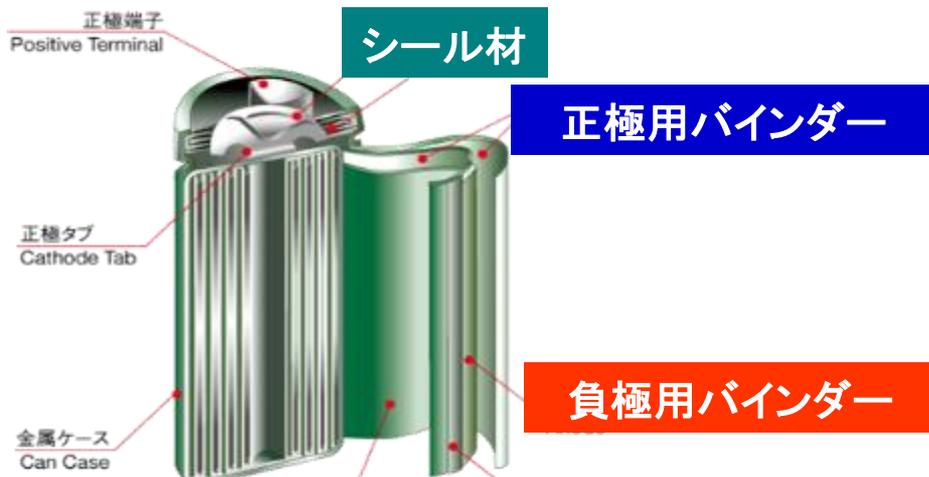
(百万m<sup>2</sup>) スマートフォン・タブレットPC面積市場



(出典:ディスプレイサーチ)

エネルギー材料事業は、製品群を拡大させ、当初の目標を上回り順調に事業拡大

## ゼオンのリチウムイオン電池向け製品

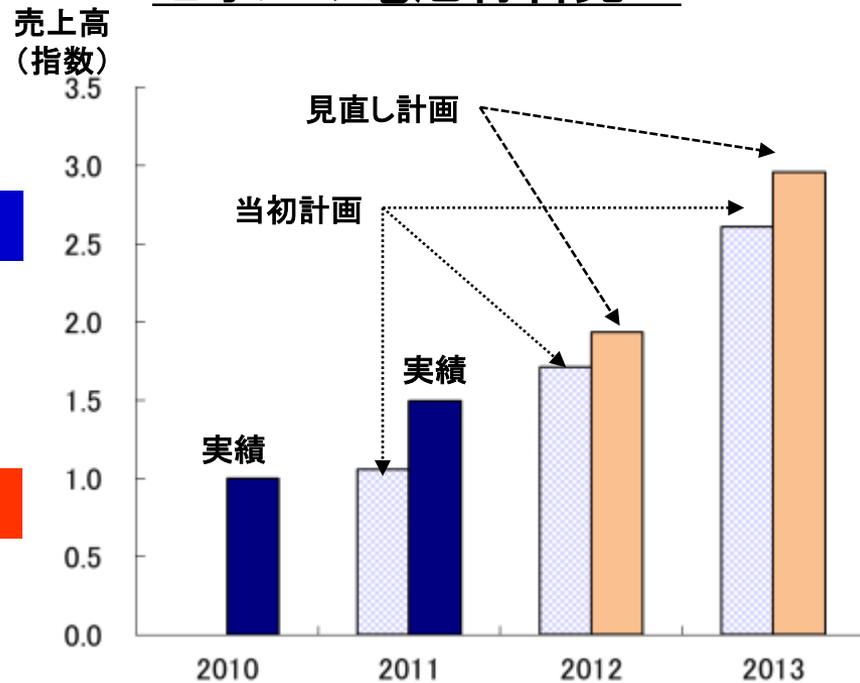


### 機能層用材料

安全性  
寿命特性  
注液性

などを向上させる  
機能層(多孔層)  
用材料

## ゼオンの電池材料売上



※指数は2010年度を1とした場合 (年度)

\*製品群の拡大により、2011年度市場成長率約10%を上回り事業拡大中 (IT総研データ)

## 消化器関連デバイス 新製品・改良品の導入

### バイポーラ高周波ナイフ

#### 「Jet B-knife」

早期癌を治療する  
ための内視鏡用  
電気メス



### 止血クリップ

#### 「ゼオクリップ®」

内視鏡下専用の  
治療後の出血・  
出血予防のため  
の止血クリップ



#### 新製品・改良品の販売開始

分類	製品	販売開始	
		'11年度	'12年度
新製品	EP用デフレクタブルシース		○
改良	胆管内視鏡用ベアメタルステント改良タイプ	○	
改良	胆管内視鏡用カバードステント改良タイプ		○
改良	EMR/ESD用止血クリップ改良タイプ 「ゼオクリップ®」 (装置・クリップ)	○	
改良	胆道結石碎石デバイス改良タイプ	○	
新製品	フラッシュ機能付バイポーラESDナイフ「Jet B-knife」	○	

カーボンナノチューブ(CNT) サンプル製造を開始

カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT製造)

NEDO  
CNTキャパシタ開発PJ成果  
基板大面積化



連続合成技術



スーパーグローブ法CNT実証プラント

大面積・連続化



補正予算事業(2009年度)

2011年度～ 産業技術総合研究所(産総研)共同事業  
量産技術開発、サンプル提供

**2012年度～ 日本ゼオン独自での製造開始**

産業化を見据えたサンプル提供  
(B to Bによる事業化促進)

## カーボンナノチューブ事業の取り組み(CNT安全性)

2006年

2011年3月 2011年9月

2016年3月



NEDO-PJ

「ナノ粒子特性評価手法の研究開発」

METI-PJ

「ナノ材料の安全・安心確保のための  
国際先導的安全性評価技術の開発」

CNT作業環境基準値  
(時限)の提案

CNT ... 0.03mg/m<sup>3</sup>

リスク評価書

管理枠組み

2010年9月

2015年3月



技術研究組合単層CNT融合  
新材料研究開発機構(TASC)  
理事長: 日本ゼオン(株) 取締役社長  
古河直純

### 参加企業

産業技術総合研究所、東レ株式会社、  
日本電気株式会社、帝人株式会社、  
住友精密工業株式会社、**日本ゼオン株式会社**

産総研/TASC

- ・安全性報告書
- ・OECDエンド  
ポイント測定
- ・簡易計測技術

METI-PJ(2010年9月~2011年3月)

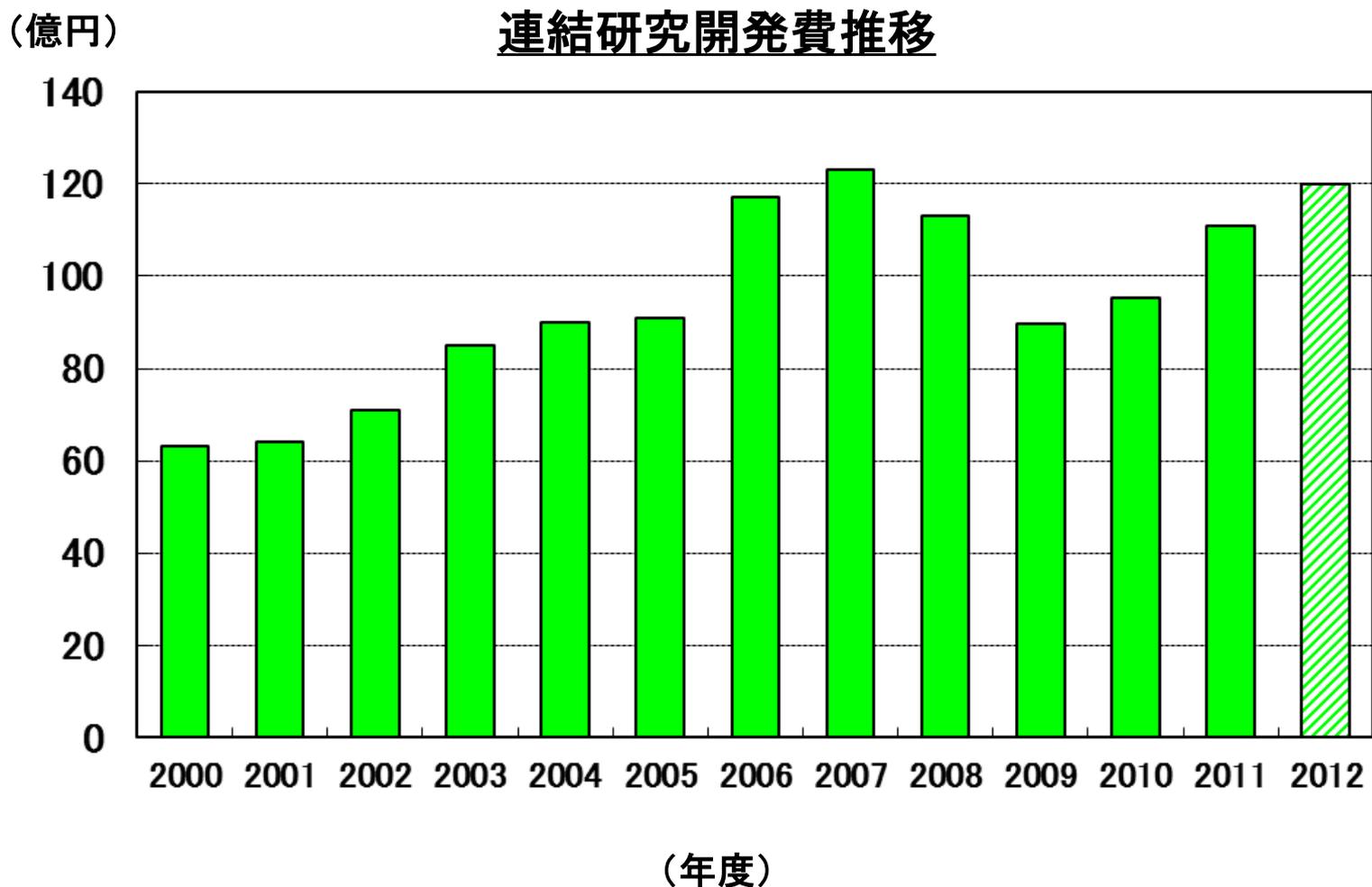
「低炭素社会を実現する超軽量・高強度革新的融合  
材料プロジェクト」

NEDO-PJ(2011年4月~)

「低炭素社会を実現する革新的カーボンナノチューブ  
複合材料開発」

OECD:経済協力開発機構

# 研究開発費の推移



# コスト競争力の向上

## 【生産革新】※



トップダウン  
で推進

ゼオンのコスト競争力強化

ボトムアップ  
で活動

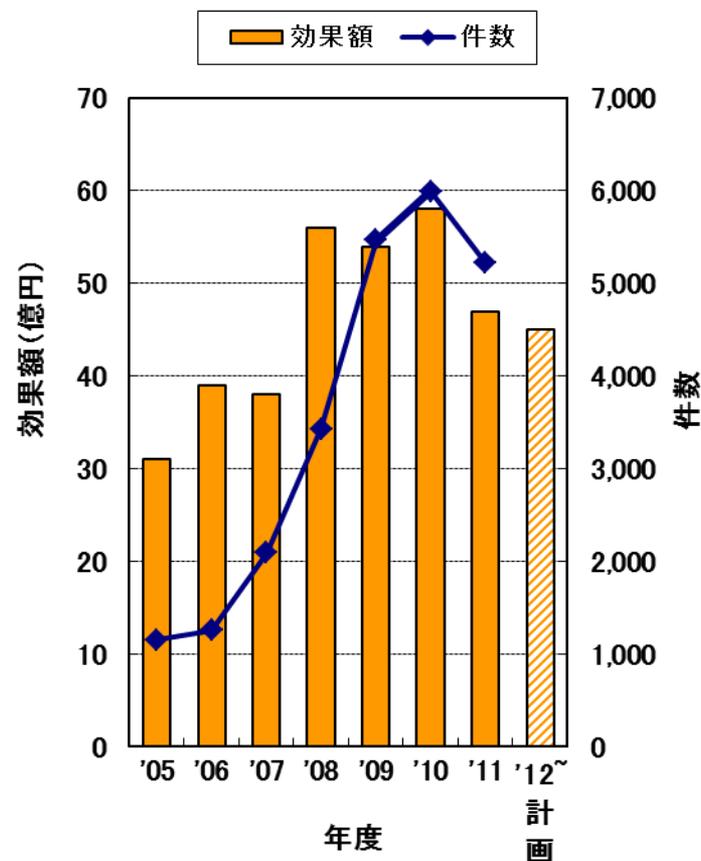
## 【ZΣ 活動】

- ★コストダウンテーマ
- ★サークルテーマ(小集団活動)
- ★コスト意識醸成・教育

テーマ化

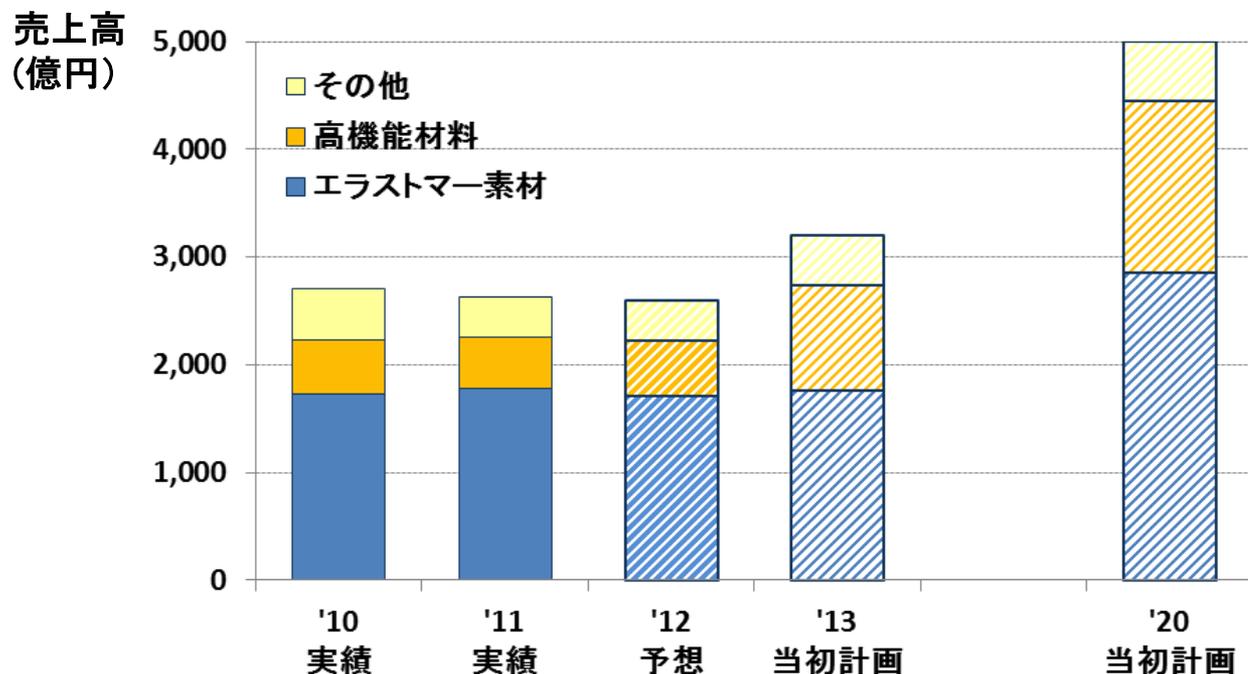
## 革新・改善活動を継続

### ZΣ 活動 効果額・テーマ件数推移



※生産革新:ダイセル式生産革新手法

## 2020年度 連結売上高5,000億円 を目指す



### 連結売上高

(億円)

'10年度	'11年度	'12年度	'13年度	'20年度
2,704	2,628	2,600	3,200	5,000

### 設備投資額

(億円)

'10年度	'11~'20年度累計
103	3,200

スピード

対話

社会貢献

—仲間との相互信頼—

# 以 上

本資料に掲載されている当社の計画、見通しなどは現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

日本ゼオン株式会社 CSR統括部門 広報室  
東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル  
Tel:03-3216-2747, Fax:03-3216-0501